

作成日： 2024年 9月24日（第2版）

2018年1月～2023年12月に名古屋市立大学医学部附属西部医療センター眼科に受診された方（眼科手術された方）へ

「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が眼科診療に及ぼした影響の調査・研究」の情報公開文書

1 研究について

2019年末のCOVID-19の発生以降、我が国におけるCOVID-19に影響をうけた眼科疾患患者さんの受診・入院・手術についての調査や情報は十分ではありません。

本研究は、眼科を受診・入院の患者さんを対象に、COVID-19が与えた影響を科学的に分析、評価し、新興感染症パンデミック発生に負けない眼科地域医療の向上を目指すことを目的としています。

この研究を実施することについては、名古屋市立大学医学系研究倫理審査委員会（所在地：名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1）において医学、歯学、薬学その他の医療又は研究に関する専門家や専門家以外の方々により、倫理性や科学性が十分であるかどうかの審査を受け、承認されたうえで、研究を実施する研究機関の長から研究を実施することについての許可を受けています。また委員会では、この研究が適正に実施されているか継続して審査を行います。

なお、本委員会にかかわる規程等は、以下のホームページよりご確認くださいことができます。名古屋市立大学病院臨床研究開発支援センター ホームページ “患者の皆様へ”

[http s://ncu-cr.jp/patient](http://ncu-cr.jp/patient)

2 この研究で用いるあなたの情報の利用目的及び利用方法について

COVID-19が眼科疾患に与えた影響を科学的に分析、評価することを目的に、名古屋市立大学医学部附属西部医療センターの眼科を受診または入院した患者さんを対象に、患者さんの属性、眼科治療、併存疾患、使用薬剤に関するデータ等を取得します。このデータがCOVID-19発生前後で、どのように変化したかを統計的に解析・整理をします。

3 この研究で用いるあなたの情報の内容について

2018年1月から2023年12月までに、名古屋市立大学医学部附属西部医療センターで眼科を受診又は入院した患者さん、およびその方の治療内容を対象としています。電子カルテに保存されているあなたの診療情報から、患者さんの属性（ID、氏名、性別、年齢、生年月日、住所(市区町村)、身長・体重・BMI、医療保険情報、家族構成、喫煙・飲酒の有無、家族の眼科疾患の有無等）、眼科治療に関するデータ（診断名、手術・治療内容、入退院日、外来受診日、紹介元医療機関、基礎疾患、視力検査等）、手術前の眼科所見、来院理由、内服薬に関するデータ等を収集します。

4 あなたの情報を利用させていただく研究者等について

この研究では、本研究施設においては、以下の研究者があなたのカルテ情報を利用させていただきます。

研究責任者： データサイエンス学部/医学研究科次世代医療開発学分野
准教授・間辺利江

研究分担者： 医学研究科総合診療医学・総合内科学特任准教授・川出義浩

5 本研究施設における研究責任者等の氏名

この研究は、研究責任者が責任をもって情報を管理します。

研究機関名： 名古屋市立大学データサイエンス学部

研究責任者： 間辺利江

個人情報管理者： 間辺利江

なお、この研究は、多機関共同研究であるため、以下の研究機関が参加しています。

【研究代表者】

研究機関名： 名古屋市立大学データサイエンス学部

研究代表者： 間辺利江

【共同研究機関】

研究機関名 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

研究責任者氏名 中沢陽子

6 あなたのプライバシーに関わる内容は保護されます。(個人情報等の取り扱い)

あなたの情報は、それらから個人を特定する情報が削られ、代わりに新しく符号がつけられます(匿名化)。あなたとこの符号とを結びつける対応表は、あなたの情報を頂いた病院や研究機関で厳重に管理され、あなたのプライバシーに関わる情報(住所・氏名・電話番号など)は保護されます。報告書などやこの研究を通じて得られたあなたに係わる記録が学術雑誌や学会で発表される場合も、得られたデータがあなたのデータであると特定されることはありません。

7 あなたの情報の利用又は他の研究機関への提供を希望しない場合

この研究について知りたいことや、ご心配のことがありましたら遠慮なくご相談ください。また、この研究にあなたの情報が利用されることや、他の研究機関へ提供されることを希望されない場合は下記の問い合わせ先にお問い合わせください。研究の進捗状況によっては、個人情報の特定できない状態になっており、あなたのデータを取り除くことができない場合があります。

【本研究施設における問い合わせ先】

研究実施機関： 名古屋市立大学滝子キャンパスデータサイエンス学部 間辺研究室

連絡先： 052-872-6275

(対応可能時間帯) 9時から17時(平日のみ)

対応者： データサイエンス学部准教授 間辺利江

8 研究に関する情報公開

この研究の成果は、学術雑誌や学会を通して公表する予定ですが、その際も参加された方々の個人情報などが分からない状態で発表します。

9 研究により得られた研究成果等の取り扱い

この研究で得られるデータ又は発見に関しては、研究者もしくは研究者の所属している研究機関が権利保有者となります。ある特定の個人データから得られる結果に基づいて行われることはありません。したがってこのような場合でもあなたが経済的利益を得ることはなく、あら

ゆる権利は研究者もしくは研究者の所属する研究機関にあることをご了承ください。

10 この研究の資金源及び利益相反（COI(シーオーアイ)：Conflict of Interest）について

研究一般における、利益相反（COI）とは「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、企業等が研究に対してその資金を提供している場合や、研究に携わる研究者等との間で行われる株券を含んだ金銭の授受があるような場合です。このような経済的活動が、研究の結果を特定の企業や個人にとって有利な方向に歪曲させる可能性を判断する必要があり、そのために研究の資金源や、各研究者の利害関係を申告することが定められています。

本研究は、国の科学研究補助金（日本学術振興会 科学研究費助成事業（研究費・国際共同研究強化B））により実施します。なお、研究に使用する医薬品等製造販売業者からの資金提供等はありません。

なお、名古屋市立大学においては、この研究について、企業等の関与と、研究責任者および研究分担者等の利益相反申告が必要とされる者の利益相反（COI）について、名古屋市立大学大学院医学研究科医学研究等利益相反委員会の手続きを終了しています。また、共同研究機関においても、利益相反関係を把握し、生命・医学系倫理指針を遵守して適切に対応しています。